

経営比較分析表（令和4年度決算）

兵庫県 はりま姫路総合医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	500床以上	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	35	対象	透I訓ガ	救臨がへ災地輪
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
5,459,867	70,008	非該当	非該当	7:1

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
720	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
16	-	736
最大使用病床(一般)	最大使用病床(療養)	最大使用病床(一般+療養)
624	-	624

グラフ凡例	
■	当該病院値(当該値)
—	類似病院平均値(平均値)
[]	令和4年度全国平均

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

- 1 統合再編前の旧2病院の機能を継承・発展させた高度専門・急性期医療の提供
- 2 総合的な診療機能を活かした幅広い疾患に対応する救急医療の提供
- 3 先進医療への貢献を含めた質の高い診療・教育・研究の実施
- 4 地域医療ネットワークの中心的な病院としての公立病院・民間病院等との連携

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当院は、令和4年5月に姫路循環器病センターと製鉄記念広畑病院との統合再編により開院した。経営指標のうち、令和3年度以前は姫路循環器病センター、令和4年度は4月のみ姫路循環器病センター、5月以降は新病院を示したものである。4年度は5月の開院前後に診療を制限したため、病床利用率は低下し、その結果、収益が下押しされるとともに、開院に伴う準備等により費用がかさみ、経常収支比率等が悪化した。また、統合により専門病院から総合病院に転換したため、患者単価が低下した一方、材料費比率も低く抑えられている。

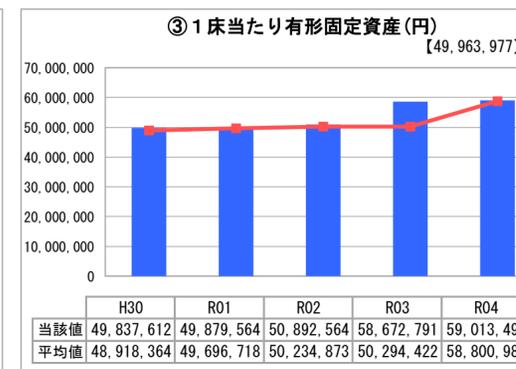
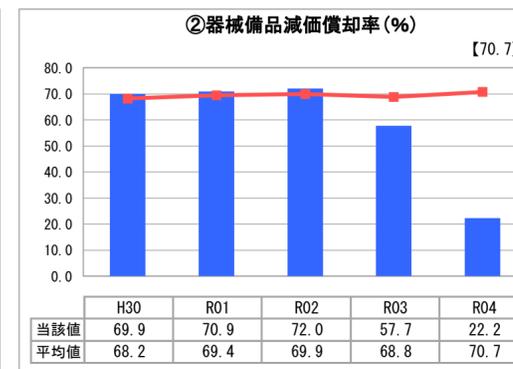
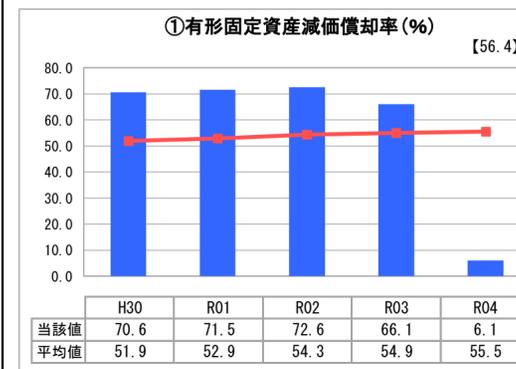
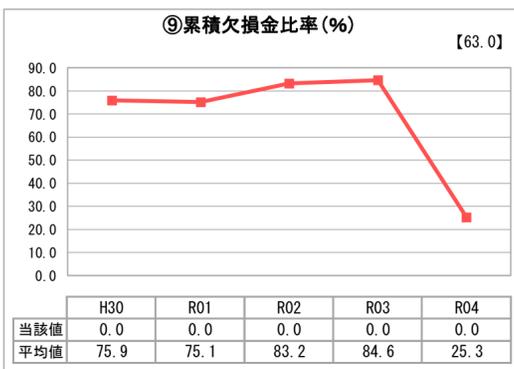
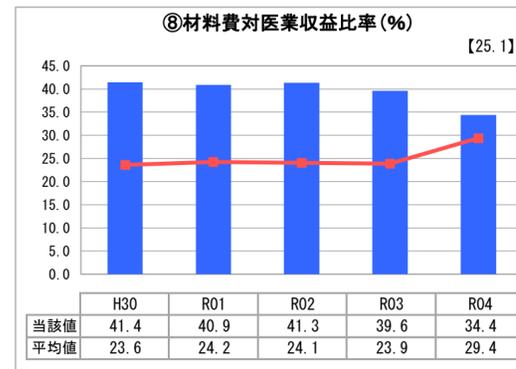
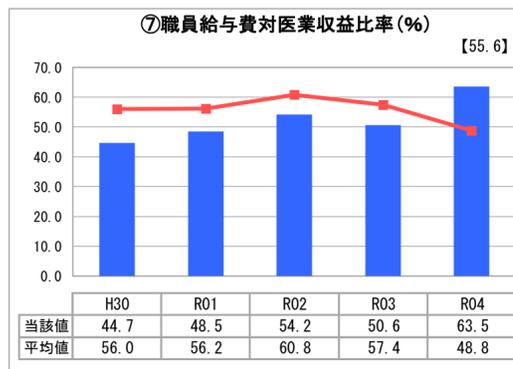
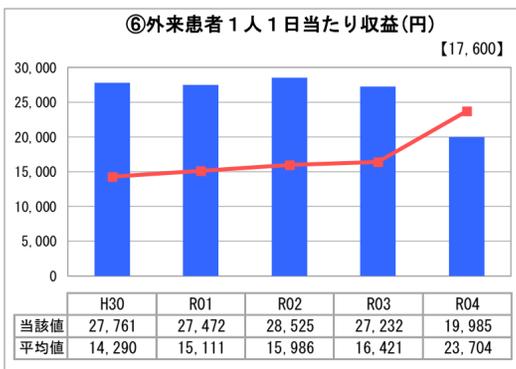
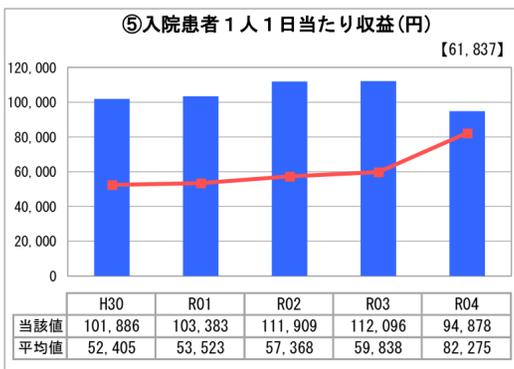
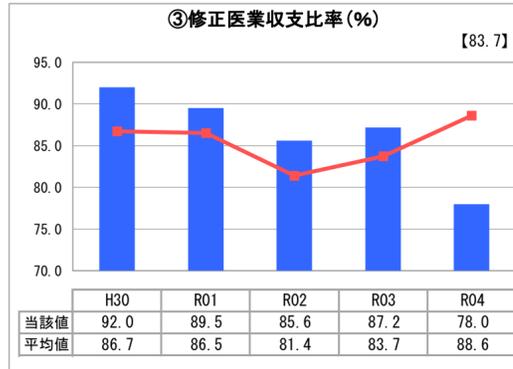
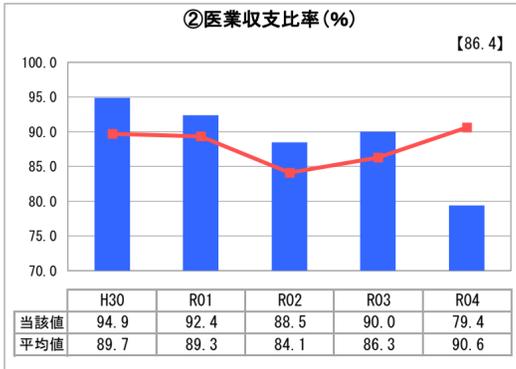
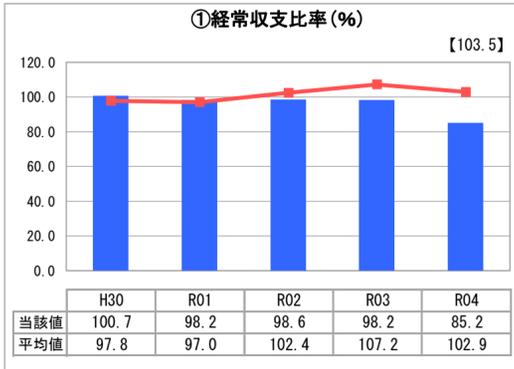
2. 老朽化の状況について

新病院開院に伴い、旧病院の建物の除却、器械備品の更新を進めたため、減価償却率は大幅に低下している。

全体総括

4年度は新病院開院により低稼働となり、また、円滑なスタートを切るため、許可病床736床のところ、稼働病床640床で運営したため、収支両面で厳しく、経営指標は軒並み悪化した。5年度は稼働病床736床でフルオープンするとともに、4年度の運営上の反省点を踏まえ、種々の経営改善策を講じ、着実に取り組んでいく。

1. 経営の健全性・効率性



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。